

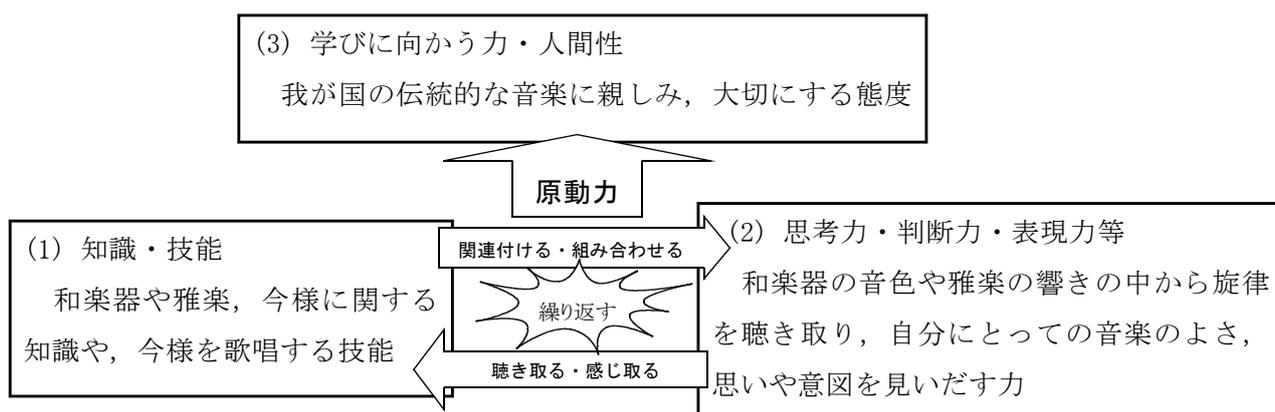
音楽科学習指導案

- I 題材** 日本の音楽の味わい
教材 「越天楽今様」 慈鎮和尚 作歌 日本古謡 浦田健次郎 編曲
雅楽「越天楽」から 日本古曲

II 考察

1 題材観

(1) 育まれる主な資質・能力とその関係



(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

- A表現 (1) イ 歌詞の内容，曲想を生かした表現を工夫し，思いや意図をもって歌うこと。
B鑑賞 (1) ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして，楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。
〔共通事項〕(要素) 音色，旋律

(3) 題材や教材の価値

本題材は，雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り，自分にとっての音楽のよさ，思いや意図を見いだして歌唱する学習である。その価値は以下のとおりである。

雅楽は，朝鮮系の外来音楽を基に，平安時代に整えられて以降，約1300年もの間受け継がれてきた日本の伝統的な音楽である。現在でも，宮廷や神社の行事等で演奏されているが，子どもたちにとって身近なものとは言えない。本題材で雅楽の歴史について知ったり，和楽器の音色の特徴を聴き取り，自分にとっての音楽のよさ，思いや意図を見いだして今様を歌唱することで，雅楽に親しみをもつことができ，我が国の伝統的な音楽として大切にすることへとつながっていく。

「越天楽今様」は，宮廷で演奏されていた雅楽の「越天楽」の旋律に，庶民が音楽を楽しむために，歌詞を付けて歌っていたものである。子どもにとって歌唱しにくい旋律ではあるが，雅楽

特有の長い音価を捉えることができる。

雅楽は日本最古のオーケストラといわれ、「越天楽」では、箏・篳篥・竈笛・笙の管楽器、琵琶・楽箏の弦楽器、鉦鼓・大太鼓・鞆鼓の打楽器が使用されている。旋律楽器の箏は人の声に近いとも言われ、「越天楽今様」を歌唱した自分たちの歌声と結び付けながら聴くことで、合奏の中の主旋律に気付けるようになる。主旋律に気付くことで、重なり合っている他の楽器の音色も味わえるようになり、それぞれの和楽器の音色の特徴にも気付くことができるようになる。旋律やそれぞれの和楽器の音色の特徴を聴き取ることで、雅楽に対する理解を深めることができ、歌唱表現の工夫へと生かしていくことができる。鑑賞と歌唱を交互に繰り返していくことで、日本の伝統音楽に親しみ、大切にすることを育んでいくことができる。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、6年「世界の音楽」で、世界の伝統的な音楽を鑑賞し、旋律やリズムの特徴を聴き取り、曲想に合った奏法を工夫して合奏する学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「和楽器のひびき」において、箏と尺八の音色の美しさを味わいながら鑑賞したり、箏を演奏したりする学習をしてきた。この学習の中で、明らかになった子どもたちの実態及び本題材を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

- ・箏の楽器の特徴や基本的な奏法を理解し、箏の音色の美しさを味わいながら演奏してきている。このような子どもたちが、雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴について理解し、雅楽の響きに合わせて歌えるように、特定の旋律を取り出した音源を聴いたり、笙の音色に近い鍵盤ハーモニカの伴奏に合わせて、グループで歌ったりする活動を設定する。
- ・箏と尺八の重なりあう音色の特徴を聴き取り、美しさ、思いや意図を見いだして箏の奏法を工夫してきている。このような子どもたちが、雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り、和楽器の響きの面白さを感じ取って、歌声で表現したいという思いや意図を見いだして歌い方を工夫できるように、曲のイメージと工夫点を整理して記入することのできる学習プリントを用意する。
- ・箏の音色の美しさを味わいながら聴いたり、親しみをもって演奏したりしてきている。このような子どもたちが、雅楽の旋律や和楽器の音色から、日本の伝統的な音楽のよさを味わいながら聴いたり、親しみをもって歌ったりできるように、繰り返し雅楽の演奏を聴いたり、「越天楽今様」を歌ったりする時間を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

- 1 ねらい 雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り、自分にとってのよさを感じ取ったり、音価や速度を工夫しながら歌ったりする活動を通して、「越天楽今様」の歌い方について思いや意図を見いだす。

2 準備 学習プリント CD イメージを広げるための資料（和楽器の写真，箏，箏，竜笛）
 拡大楽譜

3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お正月に神社で聴いたことがあるような曲だな。着物を着た人が踊っていきそうな感じがしたよ。 ・「越天楽今様」は庶民が音楽を楽しむために作られたものなのだな。私も雅楽の雰囲気味わいながら歌ってみたいな。 <p>2 雅楽の旋律と音色の特徴を生かして「越天楽今様」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本らしい旋律で、正確な音程で歌うのが難しいな。 ・さっきは気付かなかった旋律が分かったよ。旋律は同じ音なのに、私たちの歌と比べるとゆっくり伸ばして演奏しているのだな。 ・速度を速くして歌ってみたら、変な感じがしたよ。ゆっくり伸ばして歌った方が雅楽の雰囲気に合っていると思うな。 ・もう一度雅楽の「越天楽」を聴いて、歌い方を考えてみたいな。 <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越天楽今様」は「越天楽」のように、旋律をゆっくり伸ばして歌うと雅楽の雰囲気に合うのだな。 	<p>○雅楽に関心を持ち、イメージを思い浮かべながら聴けるように、使われている楽器や雅楽に関する写真を提示し、演奏されている場所や場面を問いかける。</p> <p>○雅楽「越天楽」の音色の特徴を聴き取り、その特徴を生かして「越天楽今様」を歌うという本時の見通しをもてるように、雅楽の歴史や今様の成り立ちを紹介する。</p> <p>○主旋律を意識して聴いたり歌ったりできるように、ピアノ伴奏や旋律だけを取り出したCDに合わせて歌うよう促す。</p> <p>○旋律や音色の特徴から工夫点を見いだせるように、「越天楽」を聴く際に、「越天楽今様」との旋律の共通点や相違点を問いかける。</p> <p>○旋律や音色の特徴を生かして歌えるように、考えた工夫点を基にいろいろな歌い方で試行する時間を設定し、雅楽の雰囲気に合う歌い方を問いかける。</p> <div data-bbox="710 1377 1401 1659" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">— 評価項目 —</p> <p style="text-align: center;">雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り、和楽器の響きの面白さを感じ取って記述したり、歌声で表現したいという思いや意図を見いだして歌唱したりしている。 <学習プリント・歌唱（2）></p> </div> <p>○鑑賞して思い浮かべたイメージや気持ちと、表現の工夫を結び付けられたことに気付けるように、雅楽の旋律を見付け、音価や速度を工夫しながら歌えたことを賞賛する。</p>

指導と評価の計画（全2時間）

題材	9 日本の音楽の味わい				
目標	雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り，自分にとってのよさを感じ取ったり，思いや意図を見いだして歌唱表現を工夫したりして，日本の伝統的な音楽に親しみをもつ。				
評価 規準	(1 知識・技能) 雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を理解し，雅楽の響きに合わせて歌唱している。 (2 思考力・判断力・表現力等) 雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り，和楽器の響きの面白さを感じ取って，歌声で表現したいという思いや意図を見いだしたりしている。 (3 学びに向かう力，人間性等) 雅楽の旋律や和楽器の音色から，日本の伝統的な音楽のよさを味わいながら聴いたり，親しみをもって歌唱したりしている。				
教材	ア…越天楽今様 慈鎮和尚作歌 日本古謡 浦田健次郎編曲 イ…【鑑】雅楽「越天楽」から 日本古曲				
過程	時間	配分	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法（観点）>
であ う ふ か め る ま と め る	1	ア イ	○雅楽「越天楽」を鑑賞したり，「越天楽今様」を歌唱したりする。 (本時)	○雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り，和楽器の響きの面白さを感じ取って，歌声で表現したいという思いや意図を見いだして歌い方を工夫できるように，曲のイメージと工夫点を整理して記入することのできる学習プリントを用意する。	◇雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を聴き取り，和楽器の響きの面白さを感じ取って記述したり，歌声で表現したいという思いや意図を見いだして歌唱したりしている。 <学習プリント・歌唱（2）>
	1		○「越天楽今様」を雅楽の旋律や音色の特徴を生かして歌唱する。	○雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴について理解し，雅楽の響きに合わせて歌えるように，特定の旋律を取り出した音源を聴いたり，笙の音色に近い鍵盤ハーモニカの伴奏に合わせて，グループで歌ったりする活動を設定する。	◇雅楽の旋律や和楽器の音色の特徴を理解し，雅楽の響きに合わせて歌唱している。 <学習プリント・歌唱（1）> ◇雅楽の旋律や和楽器の音色から，日本の伝統的な音楽のよさを味わいながら聴いたり，親しみをもって歌唱したりしている。 <学習プリント・歌唱（3）>